

協定書を取り交わした木賊町長と小林町長



町と真鶴町が協定 災害時の相互応援

町と真鶴町との災害時における相互応援等に関する協定調印式が10月3日(金)に行われ、木賊町長と真鶴町の小林伸行町長(鏡石町出身)とが協定書を取り交わしました。これは、大規模な災害発生時に被災した町のみで十分な応急措置が困難となったときに、応急物資や資材の供給、対策及び復旧に要する職員の派遣など、相互に応援協力を行うものです。

木賊町長(左)と町鳥獣被害対策実施隊員



鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式 鳥獣被害対策防止努める

町鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式が9月30日(火)、鏡石町役場で行われ、全隊員5名が出席しました。委嘱状交付式では、町長より各隊員へ委嘱状が交付され、町長から「皆様のご協力をいただき鳥獣被害防止に努めて参りたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。」と挨拶がありました。委嘱期間は令和7年10月1日から2年間です。

提供されたお米を食べる児童(第二小学校)



「試験ほ場」収穫のお米 町内学校給食で提供

阿武隈川上流遊水地予定地の試験ほ場で収穫されたお米(コシヒカリ)が10月15日(火)から6日間、町内の小・中学校の給食で提供されました。試験ほ場では、今年5月に試験作付けを実施し、稲の生育に影響があるか調査を進めており、安全性が確認されたことから今回提供することとなりました。児童は、「甘くてもちもちしていて美味しい。」と話していました。

認知症サポーター養成講座 認知症へ理解深める

認知症サポーター養成講座が10月22日(水)に第二小学校、24日(金)に第一小学校で実施され、4年生の児童が認知症に対する理解を深めました。新しい認知症観(※1)に立ち、認知症の人への接し方などについてグループワークやクイズ等を通して学びました。受講した児童には受講証明としてオレンジリングとサポーターカードが配布されました。

※1 新しい認知症観 認知症になると何もできなくなるという考えではなく、できること・やりたいことがあり、地域で仲間とともに希望を持って自分らしく暮らすことができるという考え方。



一小・二小による交通安全鼓笛パレード



鏡石中学校吹奏楽部による演奏



本町通りを御神輿渡御



チャレンジレクスポ
昭和のおかんになりきって障害物競走



西尾夕紀さんによるステージ



あやめサークルによる「牧場の朝」



福島県若鷲連合会による
梯子パフォーマン

祝開催30回！
鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭り

今年で開催30回目を迎える鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭りは、10月4日(土)、鏡石駅前で開催されました。当日はあいにくの天候ではありましたが、約4万人が来場しました。

祭りは、あやめサークルによる「牧場の朝」から始まり、よさこい演舞、鏡石一小・二小の児童による交通安全鼓笛パレード、チャレンジレクスポでは昭和のおかんになりきっての障害物競走が行われ、子どもから大人まで参加し、賑わいました。

また、ステージでは、福島県若鷲連合会による梯子乗りなどのパフォーマンスや、鏡石中学校吹奏楽部による演奏、最後は、演歌歌手・ものまねシンガーとして活躍されている西尾夕紀さんのステージが行われ、最後にはイベントの締めくくりとして花火が盛大に打ち上げられました。

本町通りには約70店の出店が並び、オランダ大道芸人ショー、御神輿渡御が行われ、終始多くの楽しそうな声や笑い声で溢れていました。



クイズで認知症対応について学ぶ一児児童(上)とグループワークに取り組む二児児童(下)

